

# ボスニア・ヘルツェゴビナ(BH)情勢月報(2026年4月分)

2026年4月

在ボスニア・ヘルツェゴビナ日本国大使館

## 目次(以下は主なトピックを抜粋)

### 1. 国内情勢

#### (1) 国家レベル

●[シュバルツ=シリング元BH上級代表、死去\(6日\)](#)

●[国境なき記者団\(RSF\)2026年度「報道の自由」指標及びBHに関する国別評価\(30日\)](#)

#### (2) エンティティ、特別区

##### ア ボスニア・ヘルツェゴビナ連邦(BH連邦)

●[BH連邦両院における南部相互接続プロジェクト関連法案の採択\(7日～15日\)](#)

##### イ スルプスカ共和国(RS)

●[トランプ・ジュニアのパニャ・ルカ訪問\(7～8日\)](#)

●[欧州人権裁判所におけるドディック元RS大統領の暫定措置申し立ての却下\(10日\)](#)

●[旧ヤセノバツ強制収容所犠牲者追悼記念式典の開催\(19日\)](#)

●[グルシユコ露外務次官のパニャ・ルカ訪問\(21日\)](#)

### 2. 外政

#### (1) 多国間、国際・地域機構(EU加盟プロセスを含む)

●[BH代表団のアンタルヤ外交フォーラムの参加\(17日\)](#)

#### (2) 二国間関係

●[ファン・デア・ベレン・オーストリア大統領のBH訪問\(14日～16日\)](#)

●[南部相互接続プロジェクトの二国間協定の署名\(28日\)](#)

### 3. 経済

#### (1) 経済指標(出典: BH統計局)

#### (2) 経済政策・公共事業

●[BH連邦議会によるポスシェ市風力発電所の建設資金借り入れの承認\(21日\)](#)

#### (3) 民間セクター

●[BHカトリック・コミュニティがイースターを祝福\(5日\)](#)

●[BHセルビア正教コミュニティが正教イースターを祝福\(12日\)](#)

(注: この月報は、当地紙報道などの公開情報をとりまとめたものです。)

## 1. 国内情勢

### (1) 国家レベル

#### ●シュバルツ＝シリング元BH上級代表、死去(6日)

6日、シュバルツ＝シリング元BH上級代表が死去した。同氏は、1930年にインスブリュック(奥)に生まれ、ドイツキリスト教民主同盟(CDU)で政治家としてのキャリアを歩み、1982年から1992年にかけて、ドイツ郵便・通信大臣を務めた。その後、旧ユーゴ解体後のバルカン半島で外交及び人道主義的活動を開始し、2006年にアシュダウン元BH上級代表の職務を引き継ぐ形で、上級代表に就任した(～2007年)。シュバルツ＝シリング氏は、国内アクターへの説明責任を果たし、ローカルオーナーシップを支持し、介入主義的な政策からの大きな転換を目指した。

#### ●フィリポビッチHDZ副党首が、BH大統領評議会クロアチア系メンバーへの出馬表明(13日)

13日、フィリポビッチHDZ副党首は、BH大統領評議会クロアチア系メンバーとしての出馬を表明した。これにより、クロアチア系メンバー選は、コバチェビッチDF候補及びルチッチHDZ1990候補との間で実施される予定。

#### ●国境なき記者団(RSF)2026年度「報道の自由」指標及びBHに関する国別評価(30日)

30日、国境なき記者団(RSF)は、2026年版「報道の自由」指標を発表。ボスニア・ヘルツェゴビナ(BH)を第90位(スコア54.29)となり、前年の第86位から順位を落とした。他の西バルカン諸国は、「報道の自由」があると評価されている順に、モンテネグロ(41位)、北マケドニア(45位)、アルバニア(83位)、コソボ(84位)、セルビア(104位)となっており、BHは下位から二番目に位置づけられている。

国別の評価では、セルビア系が多数を占めるRSでは、名誉毀損罪の再導入や、ロシアのプロパガンダの影響力増大により、公共の利益を追求するジャーナリズムが脅かされていると評価。BHには、約40のテレビ局、150のラジオ局、そして約600のオンラインポータルが存在するとしているが、全体としてはメディアの断片化と政治的干渉に満ちていると評価した。

#### ●ルチッチ氏がBH大統領評議会クロアチア系メンバー選、野党統一候補として出馬表明(29日)

29日、BH大統領評議会クロアチア系メンバー選に向け、ルチッチ氏が、野党の統一候補として出馬を表明。現時点で、フィリポビッチHDZ候補、コバチェビッチDF候補と共に選挙に挑む運びとなった。

### (2) エンティティ、特別区

#### ア ポスニア・ヘルツェゴビナ連邦(BH連邦)

#### ●BH連邦政府、W杯出場を決定したBHサッカー代表に対し、30万KMの予算配分を承認(1日)

1日、BH連邦政府は、W杯出場が決定したBHサッカー代表団に対し、2026年度のボスニア・ヘルツェゴビナ連邦政府準備金から30万ボスニア・ヘルツェゴビナ・マルク(BAM)を拠出する提案を承認した。

#### ●BH連邦両院における南部相互接続プロジェクト関連法案の採択(7日～15日)

BH連邦下院(4月7日)及びBH連邦上院(4月15日)は、それぞれの特別会合において南部相互接続プロジェクト関連法改正(正式名称は、「BH－クロアチア間の南部相互接続ガスパイプラインに関する法改正」)を採択した。南部相互接続プロジェクトは、クロアチアのズグボズド(アドリア海沿岸)から、ボスシェ

を分岐点とし、BHのモスタル及びトラブニクへのガスパイプラインを建設する計画。今回採択された法改正には、既存のパイプライン（サラエボ、ゼニツァを通過）を経由し、BH中部クラダニからBH北東部トゥズラまでの追加のパイプライン建設が記載され、投資企業も、改正前のBHガスではなく、「米国企業AAFSインフラ&エナジー・サラエボ社」に変更された。

#### **イ スルブスカ共和国(RS)**

##### **●トランプ・ジュニアのバニャ・ルカ訪問(7～8日)**

7日、トランプ・ジュニア(トランプ米大統領の長男)は、イゴール・ドディック氏(ドディックSNSD党首の長男)の招待により、RSのバニャ・ルカを訪問し、国際ビジネス・フォーラムに参加し、演説した。同フォーラムには、ツビヤノビッチBH大統領評議会セルビア系メンバー、ミニッチRS首相、ドディックSNSD党首が出席した。訪問に際し、ドディックSNSD党首は、今回の訪問は個人的な招待と友好的関係に基づいたものであり、謝礼等は支払われていないと明言した。

##### **●欧州人権裁判所におけるドディック元RS大統領の暫定措置申し立ての却下(10日)**

10日、欧州人権裁判所が、ドディック元RS大統領によるBH裁判所判決に対する暫定措置申し立てを却下する旨の決定を行ったことを当地メディアが確認。本申し立ては、2025年8月に、BH裁判所が同氏に有罪判決(上級代表決定不履行罪)を下し、BH中央選挙管理委員会(CEC)がRS大統領としての職務を終了させた決定及びBH憲法裁判所における上訴棄却に対する上訴に際して行われた。なお、欧州人権裁判所における最終的な判決は、被告BH側の代理人による証言が行われたのちに下される予定。

##### **●旧ヤセノバツ強制収容所犠牲者追悼記念式典の開催(19日)**

19日、BH北部、クロアチア国境付近のドニーヤ・グラディナ(RS)の旧ヤセノバツ強制収容所跡において、同収容所犠牲者追悼記念式典が開催された。同式典は、RS政府及びセルビア政府の共催で執り行われ、ツビヤノビッチBH大統領評議会セルビア系メンバー、カランRS大統領、ミニッチRS首相、ステバンディッチRS国民議会議長、ドディックSNSD党首等の主要なRS要人、セルビアからはブチッチ大統領が参加した。また、米国から、カプロウン米国・反ユダヤ主義監視撲滅特使及びガルソン米国ユダヤ人法曹協会会長が参加したほか、当地外国大使として、クラブホフ・ロシア大使及びペレグ・イスラエル大使が参加。カランRS大統領は、第二次世界大戦中にクロアチア独立国(NDH)がセルビア人、ユダヤ人、ロマ人に対して行ったことはジェノサイドであり、RSはセルビア人へのジェノサイドが二度と繰り返されないように設立されたと語った。

##### **●グルシュコ露外務次官のバニャ・ルカ訪問(21日)**

21日、グルシュコ露外務次官は、RSの中心都市バニャ・ルカを訪問し、カランRS大統領及びドディックSNSD党首、ステバンディッチRS国民議会議長等と会談した。その後は、RS側主催の地政学フォーラムにも参加した。同事務次官は、外部による内政干渉は到底容認できず、ロシアは、 Dayton 和平合意とその原則を維持するためにコミットし続けると述べた上で、上級代表職へのクリスティアン・シュミット氏の(国連安全保障理事会の承認のない)不法な任命は、BHの安定化に向けた数十年間の努力を台無しにし、西側の外部統

治による実験は何ら良いことをもたらしていないため、ロシアは、上級代表事務所(OHR)は閉鎖されるべき(ママ)であると語った。

## 2. 外政

### (1) 多国間、国際・地域機構(EU加盟プロセスを含む)

#### ●BH代表団のアンタルヤ外交フォーラムの参加(17日)

17日、BH大統領評議会3メンバー及びコナコビッチBH外務大臣は、トルコで開催された「アンタルヤ外交フォーラム」に参加した。同フォーラムの際には、BH大統領評議会3メンバーは、エルドアン・トルコ大統領と会談(朝食を共にしながら)し、「エ」大統領の暖かなもてなしに謝意を述べ、例年に引き続き同フォーラムが世界各地から指導者を集結させ、無事に開催されたことに祝意を表した。同会談では、政治・経済からその他の紐帯を深め、さらなる協力を発展させていく旨が話し合われた。

### (2) 二国間関係

#### ●ファン・デア・ベレン・オーストリア大統領のBH訪問(14日～16日)

14日から16日にかけて、ファン・デア・ベレン・オーストリア大統領が、BHを訪問し、ベチロビッチBH大統領評議会議長、シュミット上級代表及びフロンダEUFOR司令官と会談した。ベチロビッチ議長は、EU加盟に向けて多くの支援をいただいていることにとどまらず、90年代の戦争時にも、オーストリアが10万人の避難民を受け入れてくれたことについて今でも感謝していると述べ、オーストリアに17万人のボスニア国民及び3000人以上の留学生が住んでいることに触れ、彼らが二国間の紐帯をより強固なものとするに期待する旨述べた。

#### ●ヘレズBH国防大臣及びBH連邦代表団の米国訪問(14日～17日)

14日から17日にかけて、ヘレズBH国防大臣及びニコシッチBH連邦首相が米国を訪問した。ヘレズBH国防大臣は、ジーマーマン米国防次官補と会談し、二国間パートナーシップのさらなる強化及び協力の促進について議論した。両者は、80以上の活動(米製ヘリコプター6機の機材等)を通じて、BH軍に対し、重要項目への投資が行われてきたことを振り返った。同大臣は、BH軍へのガザ地区での安全保障かつ人道主義的なミッション参加を求める要請はBH軍の偉大な承認であると延べ、BHは平和の維持に貢献する用意があると強調した。ジーマーマン次官補は、防衛産業での協力に関し、さらなる協力関係の構築に向け、パートナーシップを強化していくと述べた。また、米レオポルド社から購入予定のヘリコプターの試乗も実施された。

#### ●南部相互接続プロジェクトの二国間協定の署名(28日)

28日、クリシュトBH閣僚評議会議長は、ドゥブロブニクで開催された三海域イニシアティブ首脳会合に参加し、プレニコビッチ・クロアチア首相と共に、南部相互接続ガスパイプラインの建設に関する二国間協定に署名した。今後、署名された協定は、BH大統領評議会の承認後、BH議会で批准される必要があり、クロアチア側でも同様の手続きがとられる。同プロジェクトの実施段階においては、BH側における国有財産問題の解決が必須であるため、今後議論される予定。

## 3. 経済

### (1) 経済指標(出典: BH統計局)

#### ●工業生産指数

2026年4月の工業生産指数は、季節調整後数値で前月比0.5%マイナス。前年同月比3.3%プラス。

#### ●雇用／失業率

2026年4月の失業者登録数は30万9823人(うち女性18万4363人)で、前月比で1.4%マイナス、前年同月比で3.2%マイナス。

#### ●平均給与

2026年4月の平均給与(手取り)は1,684KMで、前月比で名目賃金は0.2%プラス、実質賃金は1.6%マイナス。前年同月比で名目賃金は9.0%プラス、実質賃金は2.0%プラス。

#### ●消費者物価指数

2026年4月の消費者物価指数は前月比1.9%プラス。前年同月比で平均6.8%プラス。食料品・ノンアルコール飲料の価格は前月比0.5%のプラス。

#### ●貿易収支

2026年4月のBHからの輸出総額は57.02億KM(前年同期比1.5%増)、BHへの輸入総額は109.8億KM(前年同期比3.7%増)。貿易収支は43.96億KMの赤字。

### (2)経済政策・公共事業

#### ●BH連邦議会によるポスシェ風力発電所の建設資金借り入れの承認(21日)

21日、BH連邦上院は、ポスシェ市に建設されるポクレチャニ風力発電所の建設資金として、欧州投資銀行から1億305万ユーロの融資を受けることを承認した。融資は25年間の返済期間で承認され、5年間の据え置き期間が設けられている。同決定によれば、この資金は、西ヘルツェゴビナの広大な山岳地帯に建設されるポクレチャニ発電所の風力タービン20基(総発電容量132MW)の建設資金に充てられる。年間発電量は約436.96GWhと

見込まれている。

### (3)民間セクター

#### ●BHカトリック・コミュニティがイースターを祝福(5日)

5日、BHのカトリック教徒は、イエスの復活、死に対する声明の勝利、希望及び新たな始まりの象徴であるイースターを祝福した。ヴクシツチ司教は、イースターは喜びの日であり、すべての信仰の基礎となる日であると述べた上で、イエスは命を危険にさらし、脅迫し、恐怖を広める者たちを非難すると語った。

#### ●BHセルビア正教会コミュニティが正教イースターを祝福(12日)

12日、BHのセルビア正教徒は、正教イースターを祝福した。カランRS大統領は、セルビア正教会のポルフィリエ総主教、府主教、司教、聖職者、修道士、そしてすべての正教徒に祝意を表し、愛する人に囲まれ、平和と喜び、そして健康の内に祝われることを祈った。